

## 最優秀賞は、映画『宝島』を支援した沖縄市KOZAフィルムオフィスに！ 第12回 JFC アワード授賞式オフィシャルレポート



<後列左から>

小室JFC理事長、彦根FC室山田氏、滋賀LO石原氏、伊勢志摩FC中谷氏、寺田氏、

<前列左から>

天草FC橋口氏、同小山氏、沖縄KOZAF0金城氏、伊勢志摩FC天白氏、富山県LO高瀬氏、輪島FC橋氏

平素よりお世話になっております。

特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション（JFC）は、6月18日(木)に兵庫県姫路市（ホテルモントレ姫路/兵庫県姫路市駅前町60）にて、第12回JFC アワード授賞式を開催いたしました。

JFCアワード授賞式は、例年、JFC通常総会と併催し、全国各地で開催しています。今年は、地域との連携による優れたロケ支援や観光誘客・地域活性化への貢献が高く評価されました。また、**JFCアワード初となるゲーム作品およびハリウッド作品が受賞し、コンテンツの多様化と国際化を象徴する結果**となりました。授賞式には、全国のフィルムコミッションや自治体関係者など約130名が参加しました。

FCおよび地域と作品をつなぐ重要なポジションである制作部スタッフを表彰する「優秀制作部賞」が、今年も、地域・作品に貢献した制作部の方に、授与されました。

JFC アワードは、全国各地で優れたロケーション資源の開発や市民と一体となった撮影支援、映像作品の活用による地域活性化に向けて日々奔走するFC等を表彰するもので、今回で12回目を迎えます。また、映画賞ではなかなか日の当たることが少ない制作部の功績を称える「優秀制作部賞」も併設されています。今や、映像撮影に欠かせない存在となったFC活動、また映画制作における縁の下の力持ち制作部の存在を多くの方に知っていただくことで、撮影への理解・協力を促進するとともに、さらなる撮影環境の向上や地域の活性化に繋がると考えております。

## 第 12 回 JFC アワード

ノミネートされた 20団体の中から、最優秀賞 1 団体、優秀賞 4 団体、および優秀制作部賞として1名が決定！

\*複数団体連名で応募の際は、1 団体としてカウント

### 【最優秀賞】

沖縄市KOZAフィルムオフィス 映画『宝島』

#### 【受賞理由】

原作の取材段階から長年にわたり制作陣に伴走し、時代考証や役作り、昔ながらの住宅街の新規ロケ地開拓など、作品のリアリティと舞台へのこだわりを細部まで支え抜いた熱意を高く評価された。1億円超の直接的経済効果をもたらした大規模な宿泊調整や、各種団体と連携したエキストラ動員など、地域を巻き込んだ強力な撮影支援体制を構築し、公開後も観光協会によるガイド育成やロケ地巡りツアーの実施、上映イベントの計画など多彩な施策を展開。一過性で終わらせず、観光誘客や地域活性化に直接繋げて成功させたことが大きく評価された。

### 【優秀賞①】

天草フィルム・コミッション 映画『レンタル・ファミリー』

#### 【受賞理由】

企画段階からの迅速な提案により、当初の想定のロケーションを覆して天草への舞台転換とハリウッド大型作品の誘致を実現した。有形文化財を廃墟化する大掛かりな美術調整や、地域住民と一体となった手厚いおもてなしにより、遠隔地というハンデを越えて優れた撮影環境を創出した。国の補助金を活用して地方での大規模撮影を成立させた実績は、海外作品誘致の先駆けとなる。撮影後も多角的な連携でプロモーションを展開し、インバウンドや観光誘客へ繋げたことが表彰の決め手となった。

### 【優秀賞②】

富山県ロケーションオフィス、輪島フィルムコミッション

映画『港のひかり』

#### 【受賞理由】

通常は許可が困難な現役の富山刑務所など、リアリティのある施設での撮影を丁寧な調整によって初めて実現した。被災前の輪島や富山の貴重な街並みを映像に残しつつ、復興への光となる多角的なPRを展開した。全国の劇場へのマップ配架や輪島でのプレミア上映に加え、キャストによる受刑者への講話など、前例のない地域・社会貢献に取り組み、大きな話題を生んだ。人と地域に寄り添いながら、作品の社会的意義とクオリティ向上を双方から高めた好事例である。

### 【優秀賞③】

伊勢志摩フィルムコミッション ゲーム「パラノマサイト FILE38 伊勢人魚物語」

#### 【受賞理由】

企画段階から作品に深く関わり、地域の民話やストーリーを融合させた新たなFCのあり方を高く評価された。ファンへの機動的な仕掛けが大きな反響を呼び、旅館の予約が半年先まで埋まる圧倒的な経済効果を創出した。また、FCの丁寧なアナウンスが呼び水となり、地域が主体的に参画して休業中の店舗を再開させ、コラボ企画するなど、地域一体となった自律的な活性化と交流を生み出している。映像支援の枠を超えたコンテンツ活用の新しい指針となる好事例である。

#### 【優秀賞④】

滋賀ロケーションオフィス、彦根市フィルムコミッション室、甲賀ロケーション推進協議会  
配信ドラマ「イクサガミ」

##### 【受賞理由】

複数のFCによる広域連携のもと、国宝や重要文化財を含む困難なロケ地での大規模撮影を円滑に支援した。Netflixと密に協働し、巨大オブジェの設置やデジタルスタンプラリー、衣装展など多彩なプロモーションを展開。SNS発信も連動させることで、主要スポットの参拝者数を前年同月比2.5倍に押し上げるなど、明確な人流増加と観光誘客を実現した。作品のクオリティを支え、世界的大ヒットを地域活性化へと繋げた好事例である。

\*\*\*\*\*

#### 【優秀制作部賞】

寺田 淳氏／滋賀ロケーションオフィス推薦

##### 【受賞理由】

深夜早朝に及ぶ2チーム体制での大規模な撮影において、卓越した調整力と真摯な姿勢でロケを円滑に完遂させた。当初のロケーションに留まらず、自ら足を使って周辺をくまなく探す熱心なロケハン姿勢は、ロケ地発掘の模範である。ロケ地側に対しては文書を用いた丁寧な説明と相談しやすい雰囲気づくりを徹底し、双方の思い違いを未然に防いだ。さらに、FCやロケ地の注意事項を撮影隊全体に周知し、現場の誰に対しても誠実かつ毅然と向き合うことで、今後の信頼関係を考えていることが優れた制作部であるとして、選出された。

##### 【受賞者プロフィール】

1983年、愛媛県出身。九州ビジュアルアーツ卒業後、制作部として映画・ドラマ制作に従事。主な参加作品は『蝉しぐれ』（05・黒土三男監督）、『日本沈没』（06・樋口真嗣監督）、『マジカル・シークレット・ツアー』（26・天野千尋監督）など。テレビドラマ・配信作品では「幽☆遊☆白書」（23）、「イクサガミ」（25）などがある。

#### 【第12回 JFC アワード授賞式の概要】

- (1) 日時 令和8年6月18日(木)
- (2) 会場 ホテルモントレ姫路(兵庫県姫路市駅前町60)
- (3) 選定対象：

最優秀賞・優秀賞：令和7年度（2025.4～2026.3）公開または放映の「映像作品※1」を支援した「地域FC等※2」

※1：映像作品には映画、ドラマ、CM、音楽プロモーションビデオ、ゲーム等を含む

※2：地域FC等には、フィルムコミッション、ロケ支援団体、地方自治体、協議会等も含む

優秀制作部賞：制作部、またはラインプロデューサー。地域での撮影にかかわった方。

##### (4) 選考項目

最優秀賞・優秀賞：

- ① 素晴らしいロケーションを発掘したFC
- ② 大規模撮影やこれまでにない工夫を実現したFC
- ③ 支援作品を地域のPRにうまく活用したFC
- ④ 支援作品を地域のまちづくりにうまく活用したFC

優秀制作部賞：

- ① FCの活動を理解していること
- ② 地域の風土や条件などを理解し、地域住民等とのかかわりを築いていること
- ③ 地域の素晴らしいロケーションを発掘・PRすることに貢献したこと
- ④ 地域活性にかかる事業に協力的なこと
- ⑤ その他、FCや地域に貢献したこと

【ジャパン・フィルムコミッション(JFC)とは？】

全国の FC やロケ支援団体並びに製作関係団体・個人など約 160の会員からなる日本で唯一の映像支援団体のネットワーク組織で、日本の撮影環境の発展と地域振興を目的に、国内外の映画・映像作品の製作支援をはじめ、FC 等の人材育成支援、映像産業の振興、映像文化の普及、文化観光の振興、地域資源の評価などの資する事業等を行う組織です。

本アワードの授賞式報道用素材は下記のリンクよりダウンロードいただけます。

<https://drive.google.com/drive/folders/13VQ2W1aIXvOPrMq81T5FppNWhE2ePjP?usp=sharing>

<本件に関するお問い合わせ先>

特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション 担当：木村

Tel: 03-6264-2042 Fax: 03-6264-2043 E-mail: [jfc@japanfc.org](mailto:jfc@japanfc.org)

Mobile: 080-6234-1798 <https://www.japanfc.org/award>